

実践事例

1 実践の概要

(1) 取組みのねらい

- ・快適な学習環境の整備に努める。(生徒を生かす危機管理体制の充実)
- ・生徒の実態把握、生徒理解に努める。
- ・家庭、地域、関連機関との連携を深め、幅広い指導の体制を図る。

(2) 取組みの内容

- ・学期始め及び定期考査終了後に面接週間を設定し、担任がクラス全員と面談を行う。
- ・欠席・遅刻・早退をした生徒に対して、家庭との連絡を密に行う。
- ・自作総合演習テキスト「心の風」の中に設定した2行日記覧(「一日を振り返って」・・・4 実践に関する資料<サンプル>参照)を利用して、生徒と担任が文章を通して毎日交流を図る。
- ・全職員による全生徒への声かけを日々行う。

2 実践の成果(態度・心情面やいじめの解決など)

上記の取組みを継続的に行うことで、生徒・保護者と学校との信頼関係が築かれている。その結果、生徒は落ち着き、友人間の関係も良くなり、楽しい学校生活を送っている。生徒は教員の指導にも素直に従い、問題行動等は少なくなり、いじめもない。

3 取組みの評価(対応についての評価)

本校への地域からの評価は良くなり、学校に対して協力的である。特に、学校評議員からは、本校のいろいろな取組みに対して高い評価を得ている。また、本年5月には、地区防犯協会連合会から感謝状を受けた。特に目立った活動等はしていないが、日常的に心がけて取り組んでいることを評価されたと思っている。

更に、生徒からも上記の取組み等とおして、特に、担任や他の教員との心のふれ合いが得られることに対して、高い評価を得ている。

4 実践に関する資料(学習カード等)

本校自作総合演習テキスト「心の風」

<サンプル>

一日を振り返って

月	日	曜日	振り返りメモ